

報道各位



FAX送信枚数 枚(この用紙を含む)

2020年第52回全国高等学校選抜ホッケー大会の公式試合記録および各試合戦評をお知らせいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

第52回実行委員会事務局 川崎重工ホッケースタジアム内	本件に関するお問合せ先 第52回実行委員会事務局 連絡者氏名 長尾美和 TEL 090-8547-4754
--------------------------------	--

2020年第52回全国高等学校選抜ホッケー大会

開催日時 12 月 27 日 (日) 会場 川崎重工ホッケースタジアム Aピッチ 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:30~

石動	0	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -2 \\ 0 & -2 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$	5	岐阜各務野
----	---	--	---	-------

第2試合 11:10~

石動	0	$\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$	3	今市
----	---	--	---	----

【各試合の結果・詳細】

第1試合

$$\text{石動 } 0 \begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -2 \\ 0 & -2 \\ 0 & -1 \end{pmatrix} 5 \text{ 岐阜各務野}$$

得点	<石動>		
	<各務野> 23分・38分 #11河田、30分・51分 #9佐々木、43分 #13平光		
戦評	<p>岐阜県立岐阜各務野高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々、両者互いに激しい攻防が繰り広げられる。富山県立石動高等学校#15早助がドリブルで攻め込むも、岐阜各務野高校の堅い守備に阻まれる。岐阜各務野高校#9佐々木がダイレクトシュートを放つも得点には至らない。一進一退の攻防が続くも、両者無得点のまま第1Qが終了。</p> <p>第2Q、立ち上がりから石動高校#5沼田風を中心にスピード感溢れる攻撃を魅せ、17分、19分にPCを取得するも得点には至らない。試合が動いたのは、23分岐阜各務野高校#5近藤のプッシュシュートを#11河田が合わせ待望の先制点を挙げる。勢いに乗った岐阜各務野高校は30分#4大塚のセンターリングに#9佐々木が倒れこみながらタッチシュートを決め2-0とリードを広げ、前半が終了。</p> <p>第3Q、石動高校#5沼田風がドリブル突破し、リバースシュートを放つも得点することが出来ない。38分岐阜各務野高校#4大塚が相手を抜き去り、放ったシュートを#11河田が上手く合わせ3-0とする。続く43分岐阜各務野高校は、相手のパスをカットし#13平光が豪快なヒットシュートを決め、4-0で第3Qが終了。</p> <p>第4Q、岐阜各務野高校は51分リバウンドを#9佐々木が押し込み5-0と突き放す。55分岐阜各務野高校がPCを取得するも石動高校#4赤島が体を張った好セーブをし、得点することが出来ない。得点が欲しい石動高校は果敢に攻め込むもチャンスを活かすことが出来ないまま、5-0で試合が終了。岐阜県立岐阜各務野高等学校が勝利し、3年ぶり19度目の優勝を果たした。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	中野 典子 高島、北川、要石	アンパイア	富山 喜正 佐竹 由加里

第2試合

$$\text{石動 } 0 \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix} 3 \text{ 今市}$$

得点	<石動>		
	<今市> 10分・26分 #17根岸、33分 #13福田隼		
戦評	<p>栃木県立今市高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。5分富山県立石動高等学校#7西田がリバースシュートを放つも枠を捉えることが出来ない。10分今市高校#17根岸が相手のパスをカットし、ヒットシュートを決め、1-0で第1Qが終了。</p> <p>第1Q、追いつきたい石動高校は、#7西田、#18石川が中心となり攻撃を組み立てるも、決定的なチャンスを作ることが出来ない。26分今市高校#15角田のパスを#17根岸がタッチシュートで追加点を決め、2-0で今市高校がリードし前半が終了。</p> <p>第3Q、立ち上がりから今市高校のペースで試合が進み、33分右サイドから流れてきたボールを#13福田隼がダイレクトシュートを決め3-0とする。1点を返したい石動高校は、細かいパスを繋ぎ積極的に攻撃を仕掛け、44分#9齊藤がドリブルでサークルへ侵入しヒットシュートを放つも得点には至らず、第3Qが終了。</p> <p>第4Q、52分石動高校#9齊藤がドリブル突破から豪快なシュートを放つも、今市高校GK#14飯島の好セーブに阻まれる。ロングボールで前線にパスを繋ごうとするも、今市高校の堅い守備を崩すことが出来ないまま、3-0で試合が終了。栃木県立今市高等学校が2年ぶり4度目の優勝を果たした。</p>		
テクニカルオフィサー ジャッジ	森 義彦 長屋、下島、梶田	アンパイア	藤原 信幸 小林 哲也